

2014年(平成26年)8月7日 木曜日

担架作りや土のう積み

ボランティアリーダー養成研修

津山商高 9 高生、救助法学ぶ

美作地域の高校生を対象にした地域防災ボランティアリーダーの養成研修が4日、津山商高(津山市山北)であり、約130人が災害発生時の負傷者の救出方法などを学んだ。

東日本大震災を機に、災害時に貢献できる若者を育てようと県教委が2012年度から各地で開催。津山工真庭、勝岡田など美作圏域の計9校の生徒が参加した。

陸上自衛隊三軒屋駐屯地(岡山市)の隊員らが負傷者の救助活動を美演した後、生徒たちは角材と布を使った即席の担架作りや心臓マッサージを体験。このほか、土のう積み訓練やロープワーク、熱に強いポリエチレン袋を用いた米炊きにも取り組んだ。



角材と布を使って作った担架を体験する生徒

津山商高1年安藤翔太君(16)は「目の前には、災害時に貢献でき

(竹久祐樹)

津山商高1年安藤翔太君(16)は「目の前に

けがをしている人がいても救助の方法を知らない」と戸惑ってしまっただけ。いい勉強になった」と話した。